



保育室便り 7月号



子どもたちがお世話を楽しんで、待ちに待った、トマトやキュウリは収穫ができるほどに大きくなりました。赤くなるのを「待つ」、大きくなるのを「待つ」、待つことは時間の流れを知る大切な経験です。キュウリは新鮮なためイボイボに触れ「どこを持ってばいいの？」と驚いた表情を見せていました。トマトの収穫の時にはS君が、突然、お部屋に戻り、おもちゃのトマトを持ってきて見せてくれました。言葉では補えないものを、しっかりトマトとわかって「一緒だよ！」と教えてくれた子ども達に感動しました。

道路の照り返しは子ども達には暑く、お母様方も過ごし方に苦労されていることだと思います。保育室でも水遊びを解禁し、シャボン玉遊びや、野菜のお世話で水に触れる経験をしました。バケツや、たらいの中に水をためて、びしょびしょになって遊ぶ体験は子ども達の「キャ〜」と、嬉しそうな声に現れています。皆と一緒にびしょびしょになって遊ぶことが好きな子、ゆっくり心地良さを味わう子など様々ですが、夏を満喫しています。



7月の絵本

赤ちゃん絵本 「いやだいやだ あーんあーん きれいなほこ」 せな けいこ・作 福音館書店

多くの方が読んでもらった経験があるかもしれません。45年前に出版された絵本です
今もなお、小さな子どもたちが大好きなお話です。

「たなぼたのおはなし ほしにおねがい」 武鹿 悦子・作 教育画劇

飼猫が迷子になり、寂しそうにしている女の子の七夕の願いは「ミーヤが帰ってきますように」
新前星の子が願いを叶えるために頑張り、成長をしていく物語です。

昔話「天人にようぼう」 谷 真介・文 赤坂 三好・絵 佼成出版社

七夕の言われは、いくつもありますが、このお話は中国から伝わったものを
小泉八雲が日本流に書きなおしたお話です。

8月の遊び

室内では・・・簡単なルールのあるゲーム、色あて、お買い物のごっこなどを楽しめます。
ベランダでは・・・水遊びの中で、色水遊びや洗濯ごっこを楽しめます。
製作では・・・朝顔や金魚鉢などをモチーフにした自由画を楽しめます。

意識したい行事

夏を彩る日本各地のお祭りや、お盆の行事を知ることは子ども達の新しい体験になります。
子どもたちが、まだ小さく、「遠出は、まだまだかなあ？」と、足を運べない時期には、本や写真、
テレビ番組やニュースなどを一緒に見て、「ママ（パパ）は〇〇をして遊んだんだよ～、大きくなったら
一緒に行こうね」と会話を楽しみながら、過ごしてみたいかがでしょう。